

理研会報

発行 印刷部
事務 局
成田市幸町948の1
成田小学校

研修行事に参加して

夏休み中に 各研究会で研修会
が開かれました。おくれはせな
がらご報告いたします。

磯採集について

中央小 豊
松丸志津江
石橋 夕枝

七月の末に磯採集に同行して、
野外研修のよさを私達は感じさせ
られました。磯採集所及び宿泊場
所は、千葉県大船崎少年自然の家
とその周辺の海岸でした。そこ回
りの水と空は澄み渡り、磯の
野鳥の姿、そして、海、空に、
研修に及び、たりの環境といった
感じの所でした。

私達が研修した内容は、海岸に
出て海藻や貝殻、小魚、海岸に
咲く花の採集でした。夢中である
いろいろな花の採集は、時分
していったピエリ袋に入りました。
中でもウニは岩の下にあり、それ
をさぐると二、三個ありました。
からをわって海水で洗い、食べた
味は、格別でした。これらの作業
中、採集用のタロテスクな網を持
って、たのが大変立ち、用意
して下さった先輩の先生に感謝し
ました。次に採集したものを、ま
れいに洗い、磁器洗い落とし、標
本作りしました。コワイ力、力
などと思ひ出され、また、こうい

う機会があったら、積極的に参加
してみたいと思っております。

理科研究部現世研修会に 参加して

六合小 豊
伊藤 久男

去る八月六日に実施された二部
三研究会合同の銚子半島方面での現
世研修会に参加し、非常に有意義
な体験をさせていただきました。
研修は、飯沼行部岬の飯沼層、川
口夫婦ヶ鼻の古銅層石や山岩、海
底の三角見化石(トリゴニヤン
と、見学、採集を行ない、外川受
岬島における打ち上げ採集(目的
物はサメの歯)で暮らしてしま
い、今回の研修で最も印象深かっ
たのは、飯沼行部岬から眺めた海岸
の美しい風景です。その風景に
ふと、ふと知識がふくらみ、たが
えに得られた感想を述べます。

これは海岸地帯における食糧に
ついては、何千年という前の遠く
なるような長い海岸の中で少しす
つ進み、変化していくものだと思
い込んでおり、自分の生きる時代
に付すればと大きな変動はないも
のと考えていました。ところが、
この飯沼では侵食対策に余波を許
せないこのことを教えていただき
改めて理科分野のもつ時事性に触
れを覚がいたしました。

いは、知らずにここまで来てしま
ったように思えます。過去の産物
を愛するだけならば、まきれいな
く歴史等語になつてしまふ。しか
し、過去の産物から未来を予測し
現在に對するといふ過程をふん
で初めて理科学習が意味をなして
くるのだとすれば、自ら歴史等語
などという意義はなくなり、身近
なものに感じられまじよう。今後
は、進めばせながら自分自身理科
の本質を見極めつつ、子どもたち
に理科の表面ではなく、現在との
結びつきの中でその面白さ、大切
さを教えていけたらと思ひます。

全体を通して今一つ感じたこと
は、理科学習においてとにかく
まず経験することが第一なのだ
と、いかかといふことです。その
まは、理科の学習は、まず、
で検や文字を使ったの学習より、
できる限り実際に自分の目で、耳
でその経験と思考がうまくな
びネーショにされた時、理科学習
の本質に迫れるように思ひます。

一部で、理科は暗記の教科」と
言われ始めた世代に育った自
分ですが、その影響を受けてか何
となく理科に対する苦手意識が有
り強い勉強や経験させずに、ある
程度、理科の基礎、観察は、どの
ように行なう、たらよいのか大変ま
よい困っているところでは
ない、よよい実験をするには、ど
んなものを用いたらよいかわか
らない状態です。いろいろな実験
をした時、先の見極めがつかなく
たため、実験用具が少なかった
ため、あるいは、器具が十分でな
く、満足な実験ができなかつたこ
とがあります。

あるので、予備実験の大切さをこ
の研修会を通じて学びました。
また、事実に基づき興味を示すこ
とが多い子どもたちにとって、実
験、観察は、教師自身で準備する
のではなく、子どもといっしょに
約束を守り、行なう必要性、あと
かたづけを十分にし、次時に使う
クラスにものいわくをかけること
にすることが大切だと思ひました。

実験、観察によつて、その中か
ら仮説をひき出したり、論理が作
られていくわけですが、それには
今行なっている観察実験は、毎年
相互において、どんな位置づけの
その意味はどんなものかを知らな
くてはなりません。ところが、今
回はさりの実験にしか、考えは行
なわれませんでした。観察、実験、
十分であり、その場かぎりの理科
学習に留まっている現状です。

しかし、この小学校理科実験研
修会のあとの二学期は、少しなが
らも、自信を持って、実験、観察
の準備をし、子どもたちの前に立
って学習をすすめることができま
す。

有意義だった

理科実験研修

成田小学校 宮下 忠光

今年度の研修内容は、六年、四
のおもしろいものでした。この學
習を通じて一番印象に残ったこと
は、火を使うので危険性が非常に
高い、だから安全指導を十分に行
わなければならぬということだ
です。それに、実験はいろいろな条
件下から成り立っているのだから
いつも教科書通り行かないものと

あるので、予備実験の大切さをこ
の研修会を通じて学びました。
また、事実に基づき興味を示すこ
とが多い子どもたちにとって、実
験、観察は、教師自身で準備する
のではなく、子どもといっしょに
約束を守り、行なう必要性、あと
かたづけを十分にし、次時に使う
クラスにものいわくをかけること
にすることが大切だと思ひました。

これは、このような研修会
をたくさん開いてほしいと思ひま
す。そして、進んで参加し、進ん
でいきたいと思います。

郡理科作品展が十月三日、成
東小で開かれました。郡内
五つの部会から二百五十七点が
出品され、五十五点が金賞に選
ばれました。工作、論文の金賞
作品は顕微鏡で出品されたこと
に、なっています。早慶でとる賞
をさるが第一です。

あつたが

四名の先生方、ありがとうございました。
。実践記録などとして編集部へ
お寄せ下さい。